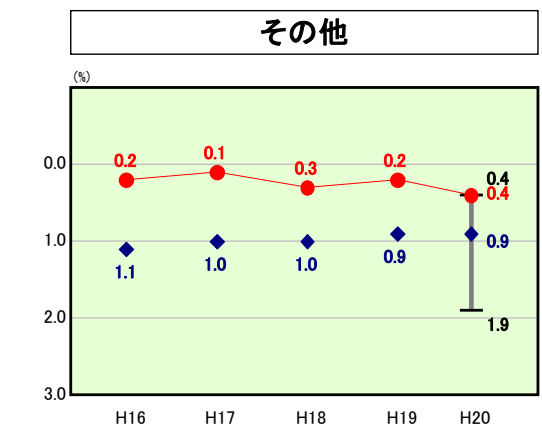
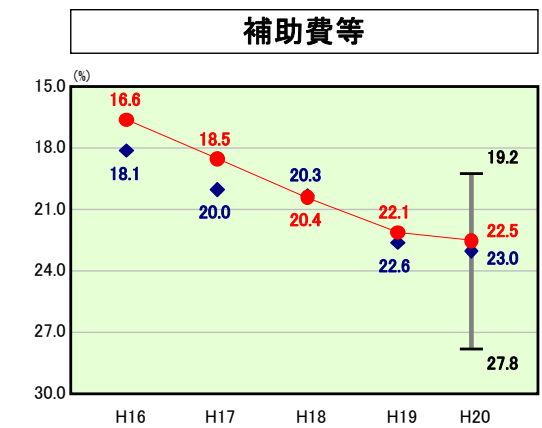
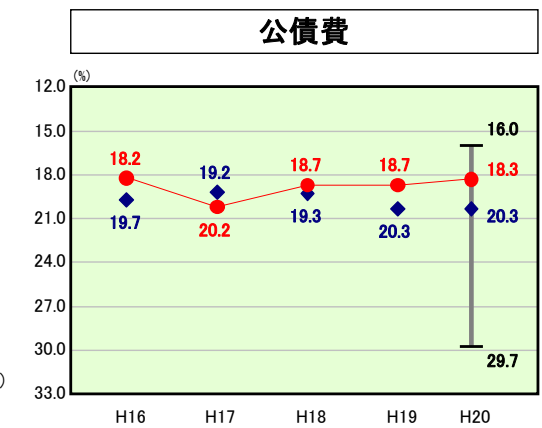
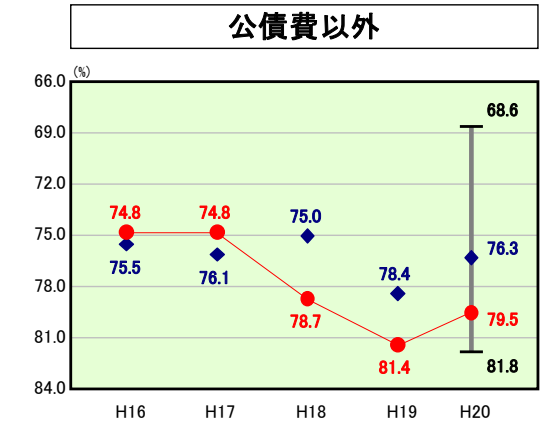
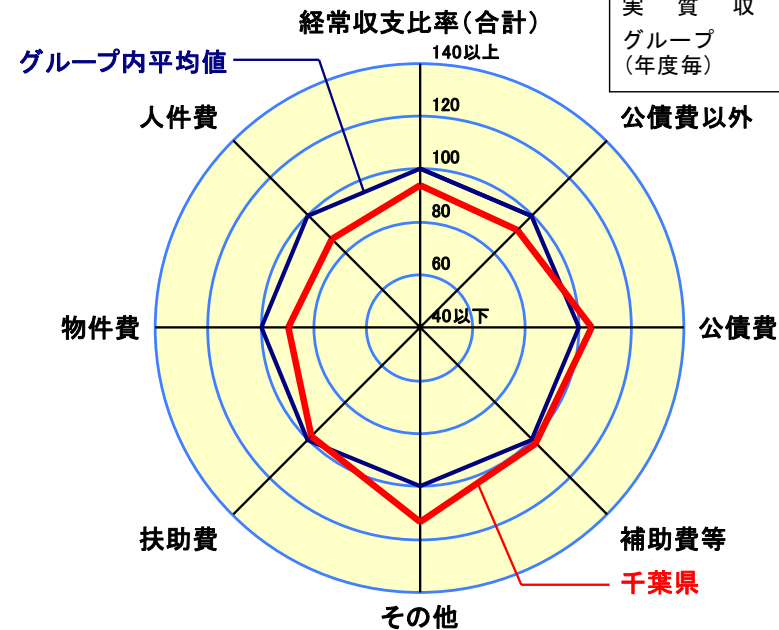
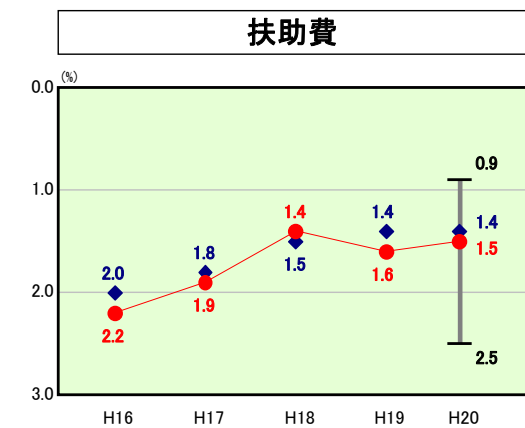
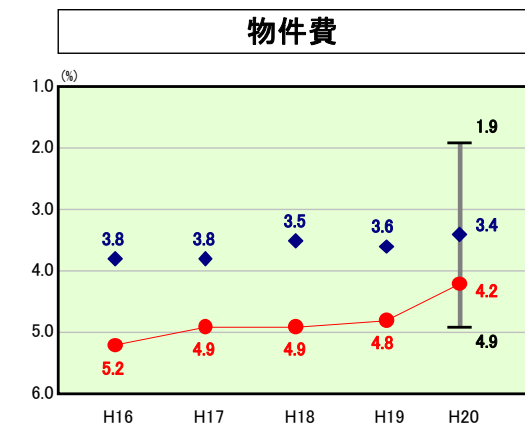
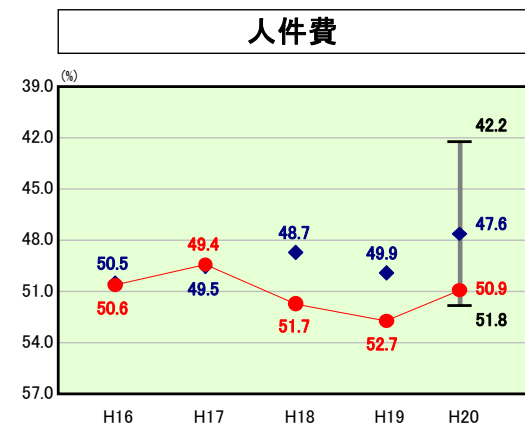
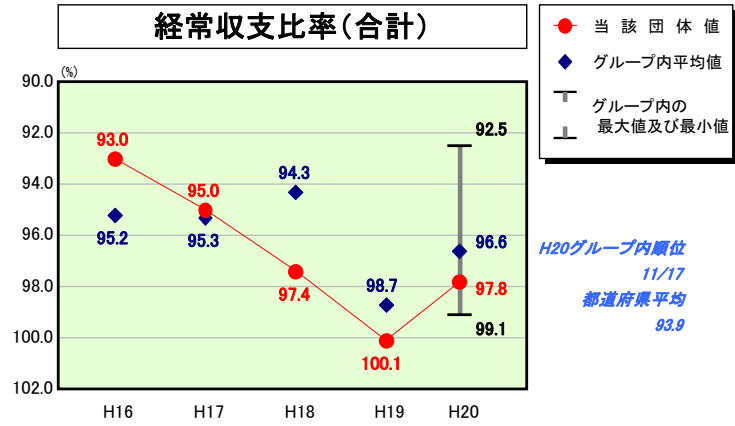


# 歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

## 経常収支比率の分析

人面標準	口積	6,124,453 人(H21.3.31現在)				
標準財政規模	積	5,081.91 km <sup>2</sup>				
歳入総額	歳入総額	1,529,566,096 千円				
歳出総額	歳出総額	1,520,570,515 千円				
実質収支	実質収支	4,553,684 千円				
グループ(年度毎)	H16	I	H17	I	H18	I
	H19	I	H20	I		



- ※1 本レーダーチャートは、当該団体とグループ内平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 グループとは、道府県を財政力指数の高低によって4つに分類したものである。  
Iグループ 0.500以上1.000未満、IIグループ 0.400以上0.500未満、IIIグループ 0.300以上0.400未満、IVグループ 0.300未満

### 分析欄

#### 【人件費】

定年退職者が多いため依然として類似団体平均を上回っているが、前年度より1.8ポイント改善したのは、職員数の削減や給与構造改革等に取り組んでいるためである。引き続き、人件費の抑制に努めていく。

#### 【物件費】

依然として類似団体平均を上回っているが、前年度より0.6ポイント改善したのは、シーリング予算による総額の抑制のほか、執行時の節減等に取り組んだためである。引き続き、経費の削減に努めていく。

#### 【扶助費】

特定疾患治療研究事業費が増加したものの、一方で収入である経常一般財源がより増加したため、比率としては0.1ポイント改善した。

#### 【公債費】

類似団体平均を下回っているのは、近年公共事業を抑制し、建設地方債が減少しているためである。県では、臨時財政対策債などを除く建設地方債等について、将来のための積立金を除いた「実質的な県債残高」を抑制していくこととしている。

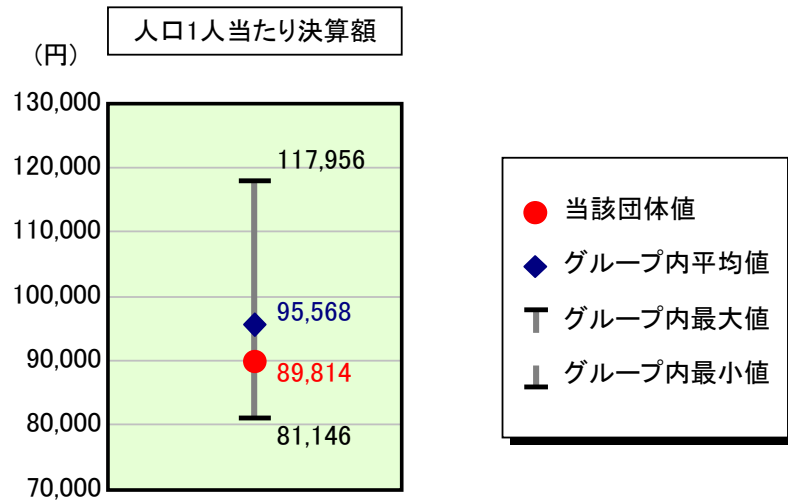
#### 【補助費等】

前年度より0.4ポイント悪化しているのは、新たに後期高齢者医療制度が創設されたことに伴い、県負担金が発生したことなどによるものである。

# 歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

千葉県

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



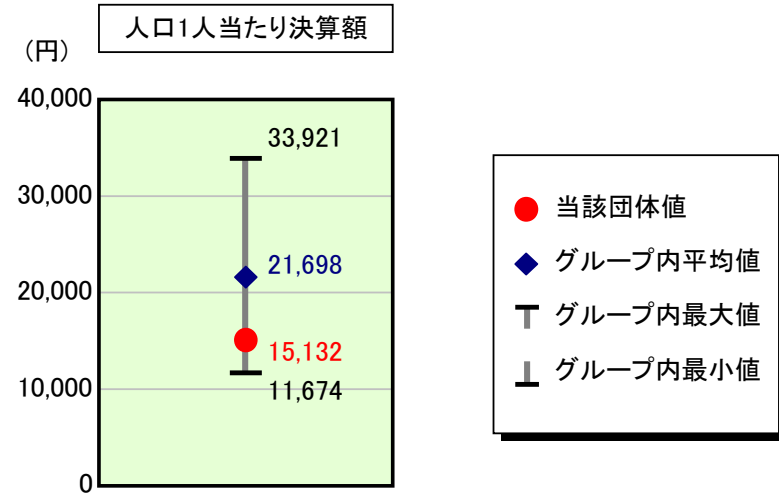
### 人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比 (%)
		当該団体 (円)	グループ内平均 (円)	
人件費	603,164,790	98,485	104,420	▲ 5.7
賃金(物件費)	420,205	69	170	▲ 59.4
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	6,289,946	1,027	597	72.0
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	0	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	-	-	48	-
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	1,431,992	234	963	▲ 75.7
▲退職金	▲ 61,247,725	▲ 10,001	▲ 10,630	▲ 5.9
合計	550,059,208	89,814	95,568	▲ 6.0

### 参考

	当該団体	グループ内平均	対比(差引)
人口100,000人当たり職員数(人)	966.32	1,011.02	▲ 44.70
ラスパイレス指数	100.9	99.4	1.5

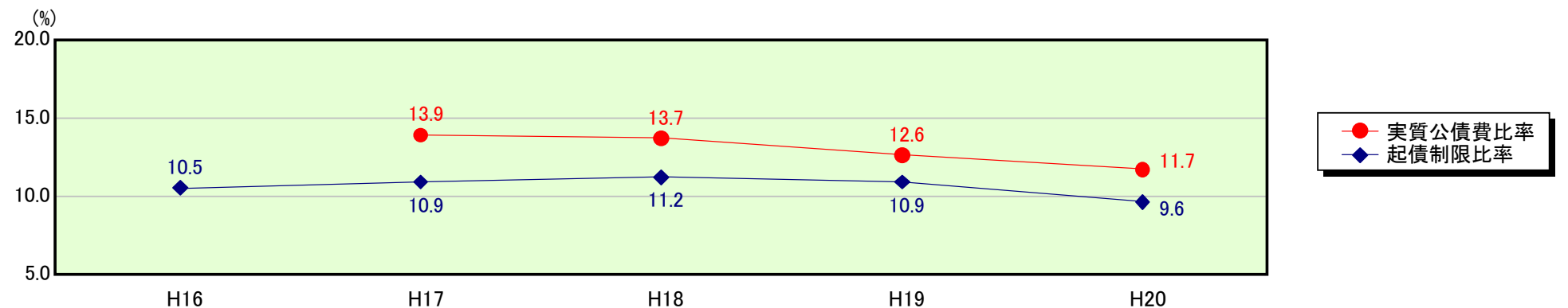
## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析



### 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比 (%)
		当該団体 (円)	グループ内平均 (円)	
公債費充当一般財源等額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。)	106,487,623	17,387	25,511	▲ 31.8
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)等	76,203,685	12,443	16,318	▲ 23.7
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	4,559,385	744	1,400	▲ 46.9
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	277,787	45	45	0.0
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	872,096	142	806	▲ 82.4
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利息は除く)	82,812	14	26	▲ 46.2
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 95,807,463	▲ 15,643	▲ 22,406	▲ 30.2
合計	92,675,925	15,132	21,698	▲ 30.3

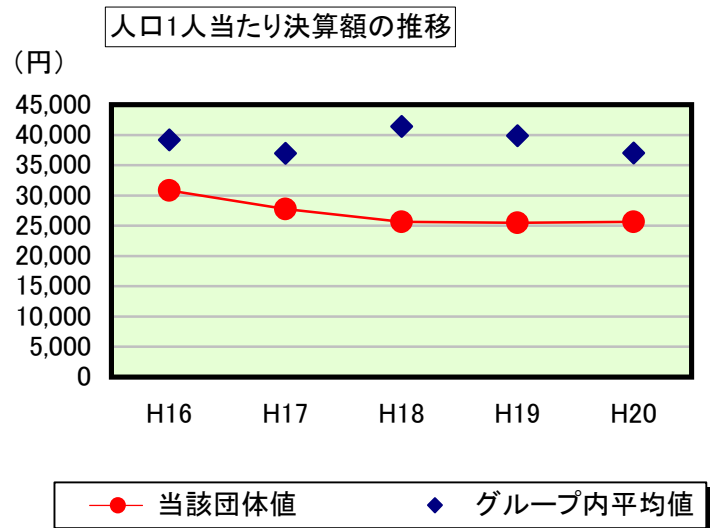
### ※参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



# 歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

千葉県

## 普通建設事業費の分析



## 普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	グループ内平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H16	185,447,816	30,833	▲ 14.1	39,172	▲ 3.1	▲ 11.0
うち単独分	66,541,845	11,063	▲ 8.3	16,796	4.1	▲ 12.4
H17	167,653,297	27,777	▲ 9.9	36,945	▲ 5.7	▲ 4.2
うち単独分	61,887,553	10,254	▲ 7.3	15,956	▲ 5.0	▲ 2.3
H18	155,370,683	25,646	▲ 7.7	41,430	12.1	▲ 19.8
うち単独分	57,322,365	9,462	▲ 7.7	18,446	15.6	▲ 23.3
H19	155,379,363	25,511	▲ 0.5	39,894	▲ 3.7	3.2
うち単独分	52,736,572	8,658	▲ 8.5	17,501	▲ 5.1	▲ 3.4
H20	157,217,154	25,670	0.6	37,006	▲ 7.2	7.8
うち単独分	51,030,951	8,332	▲ 3.8	15,712	▲ 10.2	6.4
過去5年間平均	164,213,663	27,087	▲ 6.3	38,889	▲ 1.5	▲ 4.8
うち単独分	57,903,857	9,554	▲ 7.1	16,882	▲ 0.1	▲ 7.0